

令和2年度の野生鳥獣による農作物の被害状況について むらづくり課

- 本県の令和2年度における野生鳥獣による農作物被害額は、前年度より**約1,800万円増加(前年度比+3%)**し、**5億4,782万円**となっている。依然高い水準で推移している。(図1、表1)
- 鳥獣種別被害額では、イノシシによる被害が全体の約46%を占めており、次いでカモが19%、シカが11%となっている。前年度より、**ヒヨドリの被害額は減少**したが、**カモの被害は横這い、イノシシ、シカの被害額は増加**している。鳥類やサルなどの中型獣類による被害は昨年度と同程度となっている。(表1、図2)
- 作物別被害額では、野菜が38%で最も多く、次いで果樹が27%、米が22%となっている。(図3)
- コロナ禍で低調になった集落ぐるみでの「えづけSTOP! 対策」を再確認するとともに、今後とも侵入防止柵の設置、有害捕獲による被害対策の普及・推進を図る必要がある。

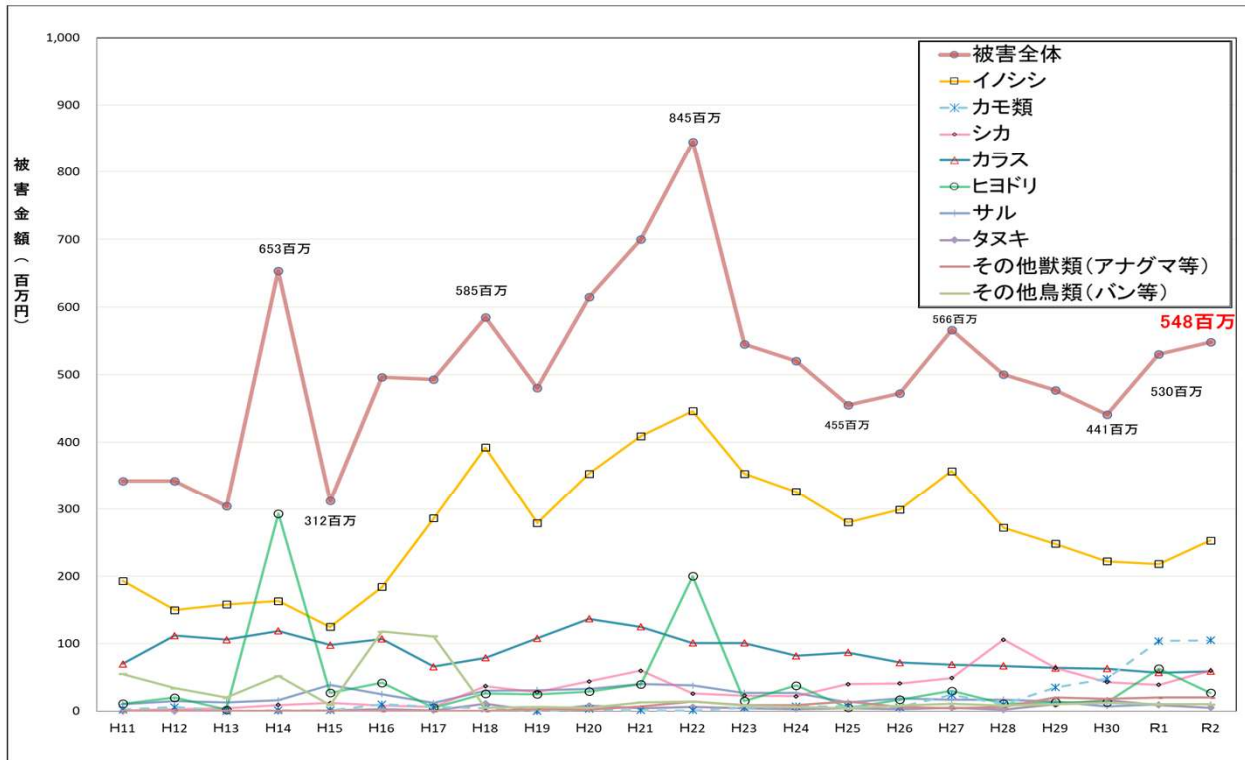


図1 被害額の推移

表1 令和2年度被害額 青文字:減少、赤文字:増加

| 項目 | 被害額 | 対前年度増減率 | 前年度からの増減額 |
|-------------|------------------|-------------|------------------|
| 全体 | 5億4,782万円 | 3% | 約1千8百万円増加 |
| イノシシ | 2億5,252万円 | 16% | 約3千5百万円増加 |
| カモ類 | 1億4,456万円 | 1% | 約0.9百万円増加 |
| シカ | 5,957万円 | 52% | 約2千0百万円増加 |
| カラス | 5,875万円 | 3% | 約2百万円増加 |
| ヒヨドリ | 2,661万円 | ▲58% | 約3千7百万円減少 |
| サル | 1,029万円 | 3% | 約0.3百万円増加 |
| その他獣類(タヌキ等) | 2,552万円 | ▲12% | 約0.4百万円増加 |
| その他鳥類(バン等) | 1,001万円 | ▲1% | 約0.1百万円減少 |

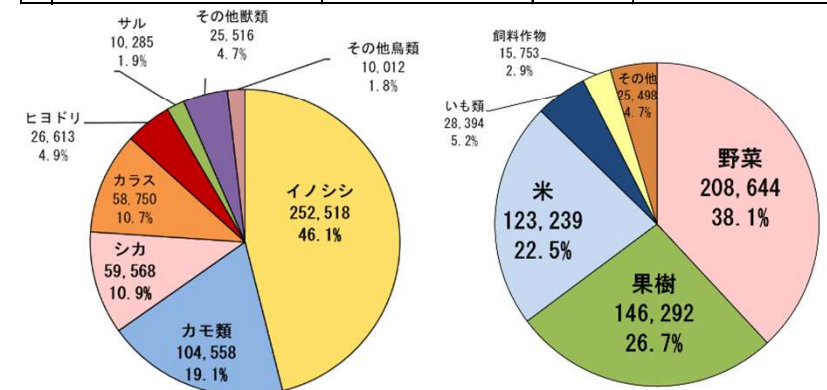


図2 鳥獣種別被害額(千円)

図3 作物別被害額(千円)

➤ 地域別の被害は、八代地域(前年度比▲12%)、熊本地域(▲9%)、阿蘇地域(▲2%)、球磨地域(▲16%)で減少し、宇城地域(2%)、天草地域(52%)、上益城地域(22%)、玉名地域(16%)、菊池地域(175%)、芦北地域(218%)、鹿本地域(46%)で増加した。

➤ 鳥獣種別では、八代地域ではヒヨドリ、熊本・阿蘇・球磨地域ではイノシシによる被害額が減少している。一方で、天草・八代・玉名・菊池地域ではイノシシ、芦北地域ではシカによる被害額が増加している。(図4)

※凡例 被害額が増加した地域: ■、減少した地域: ■

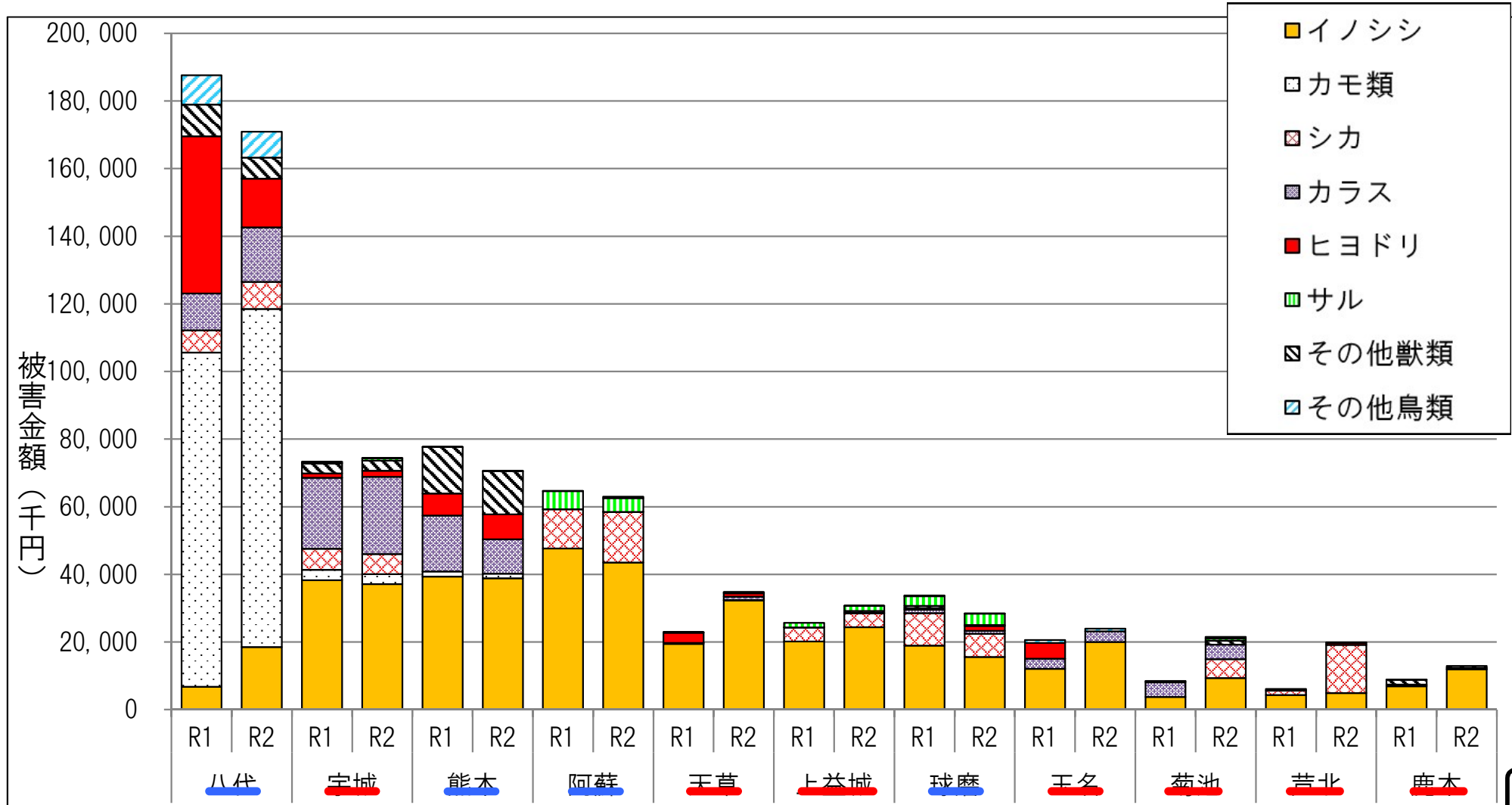


図4 地域別被害額の推移(令和元年度→令和2年度)